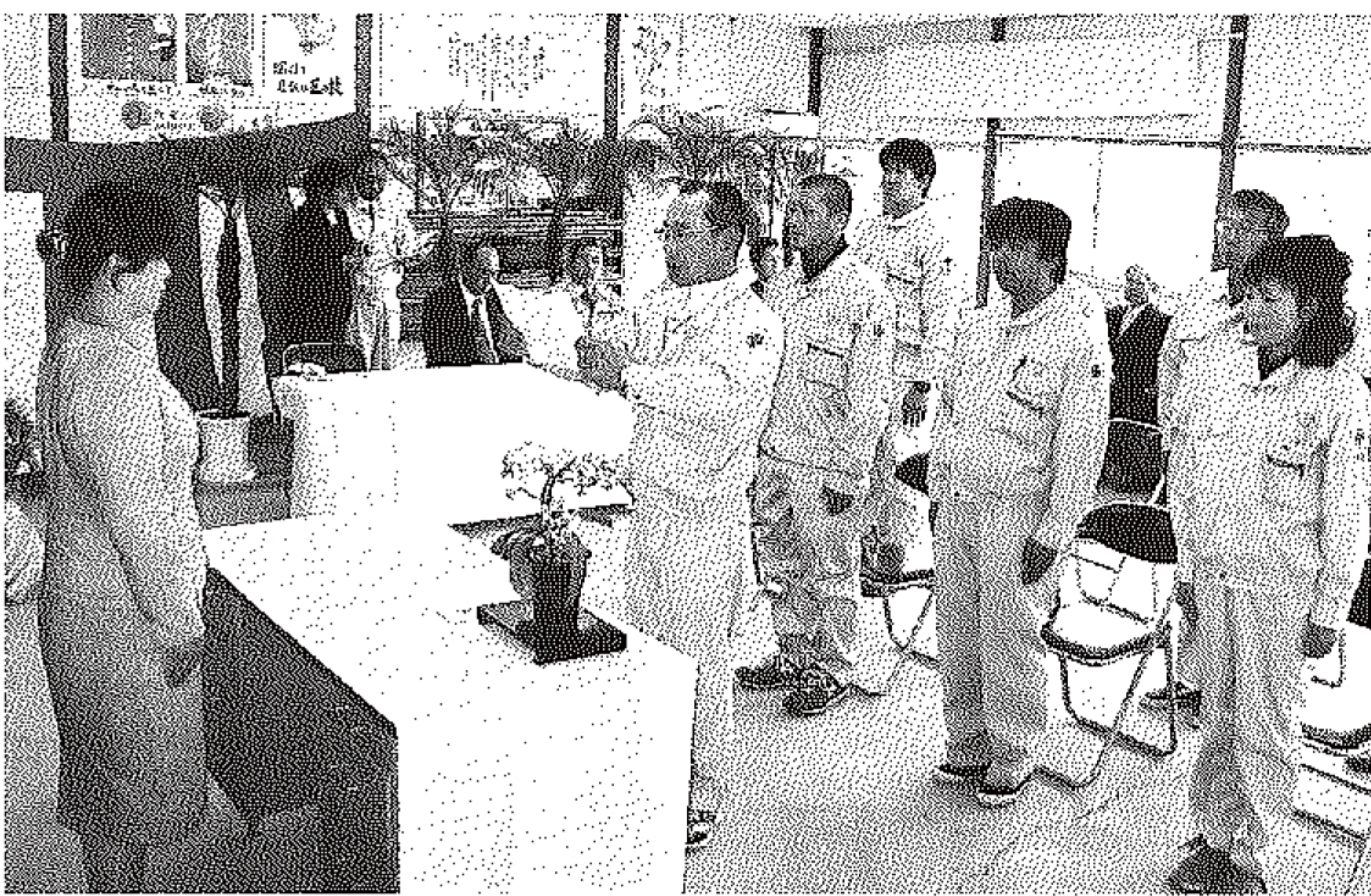


鹿児島造園技術専門校入校式

32期生 8人を激励



入校生を代表して誓いの言葉を述べる中村さん
＝鹿児島市の鹿児島造園技術専門校で

鹿児島造園技術専門校（坂上久美子校長）は11日、鹿児島市の同校実習場で平成20年度普通科訓練第32期生の入校式を開き、造園技能士を目指す8人の新入生を激励した。初めに坂上校長が「造園技能士を目指し互いに助け合い、2年間1人も欠けることなく頑張ってください」と挨拶した。来賓で、鹿児島市商工総務課の北山一郎課長は「彩りと温もりを与えてくれる大切な分野。技術を修得し熱い思いで造園業界を支えてください」と式辞を述べた。また、肥後勝司県職業能力開発協会長も祝辞を寄せ、同協会の福岡健能力開発係長が代読した。

県建設業青年部会宮之城支部（下土橋憲一支部長）は9日、さつま町のさつま警察署で同警察署の協力要請を受けて、地域の防犯ボランティアの住民らと一緒に犯罪防止を促す看板製作を行った。同警察署によると、昨年、柏原地区や久富木地区などで空き巣や車上荒らしが発生したことから、犯罪防止や防犯対策を呼び掛ける看板設置を計画。親会の協会宮之城支部が県内の他支部と先駆けて

「とよく怒鳴られたことも。でも、その厳しさがあったからこそ、今があると思う。」
中学時代、剣道で鍛えた集中力も一つの武器。「次は給水引き込みの現場にも挑戦してみたい。住民説明も出てくるだろうし」と意欲的だ。週末は、料理教室に通うなど、ひとりの女性として気分をリフレッシュする。25歳。
「あれこれ考えず、ハッセンカ



鹿児島市水道局発注で女性初の現場代理人を務めた吉富智恵さん（中央工業株式会社）は「期待以上だった」と発注者をうならせた。工事内容は、旧吉田町の水不足解消を目的とした連絡管布設。同市本城の乙女塚へ婦人木をつなぐ約1kmの区間を担当。

「発注者とうまく打ち合わせできるかな」と不安はあった。「覚悟していたが、マインスの電話を受け、たことは一度も無かった」と手放して喜んだ。幼い頃から、日置市で建設業を営む父の背中を見て育つ。大学卒業後、管工事で実績ある同社に入社し3年。先輩の現場で、工程管理などのノウハウを学んできた。

「発注者とうまく打ち合わせできるかな」と不安はあった。「覚悟していたが、マインスの電話を受け、たことは一度も無かった」と手放して喜んだ。幼い頃から、日置市で建設業を営む父の背中を見て育つ。大学卒業後、管工事で実績ある同社に入社し3年。先輩の現場で、工程管理などのノウハウを学んできた。

（中間健治・報道編集）



県建設業青年部会指宿支部（後迫芳周支部長）は11日、春の交通安全運動の街頭キャンペーンにちなんで、指宿警察署をはじめ指宿地区交通安全協会、指宿安全運転管理協議会などと協力し、指宿市小牧地区の「道の駅いぶすき」前の国道226号沿いで行き交うドライバーらに安全運転を訴えた。これは、春の全国交通安全運動の実施に

「安全運転呼び掛ける」
は11日、春の交通安全運動の街頭キャンペーンにちなんで、指宿警察署をはじめ指宿地区交通安全協会、指宿安全運転管理協議会などと協力し、指宿市小牧地区の「道の駅いぶすき」前の国道226号沿いで行き交うドライバーらに安全運転を訴えた。これは、春の全国交通安全運動の実施に

は11日、春の交通安全運動の街頭キャンペーンにちなんで、指宿警察署をはじめ指宿地区交通安全協会、指宿安全運転管理協議会などと協力し、指宿市小牧地区の「道の駅いぶすき」前の国道226号沿いで行き交うドライバーらに安全運転を訴えた。これは、春の全国交通安全運動の実施に

新商品&リフォームフェア
システム新機能が満載
（株）INAX鹿児島営業所（島市）は11、12日の2日間、中原聡司所長、鹿児島間の日程で新商品&リフォームフェアを開催している。新商品を中心に展示し、多くの人が訪れている。主力のシステムバスは、毛玉が簡単にとれる「くるりんボーイ」を備えた最新のシステムバスを展示。最新のシステムバスを展示。最新のシステムバスを展示。

中原所長は「商品全体の約8割をモデルチェンジしましたので、これらを中心に展示しています。また幻の焼酎などが当たる抽選会も実施していますので、多くの人に訪れてほしい」と話している。12日も午前10時から午後6時まで開催、来場者には粗品の進呈やフラワールアレンジメントの実演などもある。問い合わせは同社鹿児島営業所（099・266・288）まで。

出水市木製品工業組合（井手上均組合長、11社）は10日、出水市内の独居老人宅の襖（ふすま）や雨戸など引き戸のきしみ補修や調節などの奉仕活動を実施した。同日は東出水地区の独居老人宅を訪問し、襖や雨戸など引き戸のすべり具合を確認し、かんや工具を巧みに使って瞬間に仕上げ、作業を見守っていた住人も「滑りが全く違う。さすがだな」と感心していた。

出水市木製品工業組合（井手上均組合長、11社）は10日、出水市内の独居老人宅の襖（ふすま）や雨戸など引き戸のきしみ補修や調節などの奉仕活動を実施した。同日は東出水地区の独居老人宅を訪問し、襖や雨戸など引き戸のすべり具合を確認し、かんや工具を巧みに使って瞬間に仕上げ、作業を見守っていた住人も「滑りが全く違う。さすがだな」と感心していた。

出水市木製品工組が奉仕活動
老人宅引き戸など修繕

同日は東出水地区の独居老人宅を訪問し、襖や雨戸など引き戸のすべり具合を確認し、かんや工具を巧みに使って瞬間に仕上げ、作業を見守っていた住人も「滑りが全く違う。さすがだな」と感心していた。